

令和4年度 千葉市動物公園 アカデミア・アニマリウム講演会 開催記録

◇ アカデミア・アニマリウムとは？

2020年9月より、当園の研究・教育活動を「**アカデミア・アニマリウム(動物をめぐる学術の場)**」と称し、活動を推進しています。アカデミア・アニマリウムのキーワードは『**学術(Academic)**』であり、「科学的情報の収集・発信」および、「学びの場」となることを目的としています。

アカデミア・アニマリウムの活動は、当園主体の活動だけでなく、さまざまな連携先(学校、研究・学術団体、企業など) 行う全ての研究・教育活動が含まれています。

◇ 令和4年(2022年)度の講演会総括

令和4年(2022年)度は全26回実施しました。本年はアカデミア・アニマリウム事業を立ち上げて2年目の年となり、新たに「シリーズ化」を意識して企画を行うようになりました。その中で、コロナ禍により中止をしていた対面で行う「飼育員特別ガイド」に代わり、講演形式で実施する「飼育員特別ガイド」も行っています。また新たな取り組み取りとして、地域の大学と連携した講座「東邦大学オープンセミナー」も始まりました。大学の先生による専門的な生物の話をいただけることにより、より質の高い学びを提供できるようになりました。

◇ 月別の実施回数と参加人数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
件数	1	1	1	1	3	3	4	6	5	1	0	0	26	(件)
参加人数	67	70	70	49	137	282	330	361	318	59	0	0	1743	(人)

◇ 令和4年度の講演会シリーズ一覧

- [飼育員特別ガイド](#)
- [ゴリラの日特別ガイド](#)
- [こども動物園のお話](#)
- [ちばZOOフェスタ・2022](#)
- [東邦大学オープンセミナー](#)
- [千葉大学オープンセミナー](#)

飼育員特別ガイド (全8回)

*「内容」はHPに記載されていたものを転記しています。

① 4月24日(日) アカテタマリン

講演者：動物科学館 飼育担当職員

内容：3月に実施した「動物科学館の飼育員特別ガイド」の第二弾です。
今回は、「アカテタマリン」にフォーカスしたガイドを行います。お楽しみに！

動物科学館の
飼育員特別ガイド
飼育員による動物のお話。普段は聞けないお話が盛り沢山！

4月24日(日)
時間：13:00~13:30
場所：動物科学館1階
レクチャールーム
定員：70人

参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント！
お願い：新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクを着用のうえご参加ください



今回の主役は「アカテタマリン」

② 5月22日(日) ショウガラゴ

講演者：動物科学館 飼育担当職員

内容：恒例となりつつある「動物科学館の飼育員特別ガイド」の第三弾です。
今回は、「ショウガラゴ」にフォーカスしたガイドを行います。お楽しみに！

動物科学館の
飼育員特別ガイド
飼育員による動物のお話。普段は聞けないお話が盛り沢山！

5月22日(日)
時間：13:00~13:30
場所：動物科学館1階
レクチャールーム
定員：70人

参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント！
お願い：新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクを着用のうえご参加ください



今回の主役は「ショウガラゴ」

③ 6月19日(日) ワタボウシタマリン

講演者：動物科学館 飼育担当職員

内容：恒例の「動物科学館の飼育員特別ガイド」の第四弾です。
今回は、「ワタボウシタマリン」にフォーカスしたガイドを行います。
お楽しみに！

Academia animalium アカデミア・アニマリウム
飼育員特別ガイド
飼育員による動物のお話。普段聞けないお話が盛り沢山！

6月19日(日)
時間：13:30~14:00
場所：動物科学館1階
レクチャールーム
定員：70人

参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント！
お願い：新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクを着用のうえご参加ください



今回の主役は「ワタボウシタマリン」

④ 7月3日(日) フタクビナマケモノ

講演者：動物科学館 飼育職員

内容：恒例の「動物科学館の飼育員特別ガイド」の第五弾です。
今回は、「フタクビナマケモノ」にフォーカスしたガイドを行います。
お楽しみに！

Academia animalium アカデミア・アニマリウム
飼育員特別ガイド
飼育員による動物のお話。普段聞けないお話が盛り沢山！

7月3日(日)
時間：13:30~14:00
※受付開始時間は13:20からです
場所：動物科学館1階
レクチャールーム
定員：70人

参加者には千葉市動物公園オリジナルカードをプレゼント！
お願い：新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクを着用のうえご参加ください



今回の主役は「フタクビナマケモノ」

⑤ 8月14日(日) クロミマーモセット

講演者：動物科学館 飼育職員

内容：恒例の「動物科学館の飼育員特別ガイド」の第六弾です。
今回は、「クロミマーモセット」にフォーカスしたガイドを行います。
お楽しみに！

Academia animalium アカデミア・アニマリウム
飼育員特別ガイド
飼育員による動物のお話。普段聞けないお話が盛り沢山！

8月14日(日)
時間：13:30~14:00
※受付開始時間は13:20からです
場所：動物科学館1階
レクチャールーム
定員：65人

参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント！
お願い：新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクを着用のうえご参加ください



今回の主役は「クロミマーモセット」

⑥ 10月22日(土) サバンナシマウマ

講演者：サバンナシマウマ 飼育職員

内容：今回の飼育員特別ガイドは、2022年に新たに仲間入りした「サバンナシマウマ」にフォーカスしたガイドを行います。お楽しみに！

Academia animalium アカデミア・アニマリウム
飼育員特別ガイド
飼育員による動物のお話。普段聞けないお話が盛り沢山！
10月22日(土)
時間：13:30~14:00
※受付開始時間は13:20からです
場所：動物科学館1階
レクチャールーム
定員：130人
参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント！
お願い：新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクを着用のうえご参加ください

⑦ 12月17日(土) マレーバク

講演者：マレーバク 飼育職員

内容：今回の飼育員特別ガイドは、マレーバクにフォーカスしたガイドを行います。今年当園にやってきたマレーバク「カナエ」のお話も聞けるかも。お楽しみに！

Academia animalium アカデミア・アニマリウム
飼育員特別ガイド
飼育員による動物のお話。普段聞けないお話が盛り沢山！
12月17日(土)
時間：13:30~14:00
※受付開始時間は13:20からです
場所：動物科学館1階
レクチャールーム
定員：130人
参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント！
お願い：新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクを着用のうえご参加ください

⑧ 12月25日(日) 固有種が教えてくれること

講演者：飼育職員

内容：特定の地域に生息・生育している生き物の種のことを「固有種」と言います。今回の飼育員特別ガイドでは、日本の様々な固有種を中心に、生物の保全や日本の動物園で行われている取り組みについてお話します。

Academia animalium アカデミア・アニマリウム
飼育員特別ガイド
「固有種が教えてくれること」
12月25日(日)
時間：13:30~14:00
※受付開始時間は13:20からです
場所：動物科学館1階
レクチャールーム
定員：130人
参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント！
お願い：新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクを着用のうえご参加ください

ゴリラの日特別ガイド (全2回)

9月24日は世界ゴリラの日はゴリラの保全とその生息地を守ることを目的に制定された「世界ゴリラの日」です。「世界ゴリラの日」に合わせ、2日間にわたり特別講演を実施しました。

① 9月24日(土) 千葉市動物公園とゴリラ

講演者：千葉市動物公園 副園長

Academia animalium アカデミア・アニマリウム
飼育員特別ガイド
「千葉市動物公園とゴリラ」
9月24日(土)
時間：13:30~14:00
※受付開始時間は13:20からです
場所：動物科学館1階
レクチャールーム
定員：130人
参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント！
お願い：新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクを着用のうえご参加ください

② 9月25日(日) DNAが明かすゴリラの社会

講演者：東邦大学 理学部 准教授 井上 英治 先生

Academia animalium アカデミア・アニマリウム
東邦大学 理学部 生物学科 准教授 **井上英治先生**
特別ガイド
「DNAが明かすゴリラの社会」
9月25日(日)
時間：13:30~14:00
※受付開始時間は13:20からです
場所：動物科学館1階
レクチャールーム
定員：130人
参加者には千葉市動物公園オリジナル動物カードをプレゼント！
お願い：新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクを着用のうえご参加ください

こども動物園のお話 (全5回)

*「内容」はHPに記載されていたものを転記しています。

① 10月30日(日) 飼育員のお仕事紹介&どうしたらなるの?

講演者: こども動物園 飼育職員

内容: 動物園には、どんな役割があるの?飼育員はどんなことをしているの? どうしたら飼育員になれるの?普段は聞けない・見られない作業や、飼育員の思い出を紹介します。

子ども動物園のお話 (全5回) 第1回 「飼育員のお仕事紹介&どうしたらなるの?」

動物園は何のためにあるの?飼育員はどんなことをしているの?どうしたらなるの?

日付: 10月30日(日)
時間: 13:30 ~ 14:10
※受付開始は 13:20 からです
場所: 動物科学館 1階
レクチャールーム
定員: 130人
※大人の方も参加いただけます

参加費は、子ども動物園アカデミアの「動物スクール」をプレゼント!
※新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクを着用の上でご参加ください

② 11月13日(日) 大きなネズミと小さなネズミ

講演者: こども動物園 飼育職員

内容: カピバラ・チンチラ・オグロプレーリードッグなど、体の大きさが異なるネズミの仲間にチューもく!体の形や生活をくらべてみると、意外な発見があるかもしれない!

子ども動物園のお話 (全5回) 第2回 「大きなネズミと小さなネズミ」

カピバラ・チンチラ・オグロプレーリードッグなど、ネズミの仲間にチューもくして比べてみよう!

日付: 11月13日(日)
時間: 13:30 ~ 14:00
※受付開始は 13:20 からです
場所: 動物科学館 1階
レクチャールーム
定員: 130人
※大人の方も参加いただけます

参加費は、子ども動物園アカデミアの「動物スクール」をプレゼント!
※新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクを着用の上でご参加ください

③ 11月26日(土) 生き物を守るためにできること

講演者: こども動物園 飼育職員

内容: 千葉県レッドデータブックで、最重要保護生物に指定されているトウキョウサンショウウオ。小さな生き物が、この先の未来も生きていくために、私たちができることは何?

子ども動物園のお話 (全5回) 第3回 「生き物を守るためにできること」

トウキョウサンショウウオに迫る危機や、当園の保全活動をご紹介!自分のできる事は?

日付: 11月26日(土)
時間: 13:30 ~ 14:00
※受付開始は 13:20 からです
場所: 動物科学館 1階
レクチャールーム
定員: 130人
※大人の方も参加いただけます

参加費は、子ども動物園アカデミアの「動物スクール」をプレゼント!
※新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクを着用の上でご参加ください

④ 12月4日(日) シバヤギの体のヒミツ

講演者: こども動物園 飼育職員

内容: シバヤギの目はどうして黒目が横長なの?どうしてご飯を食べていない時でも、口をモグモグ動かしているの?どうしてウンチが丸いの?何で??の謎を解いてみよう!

子ども動物園のお話 (全5回) 第4回 「シバヤギの体のヒミツ」

どうして黒目が横長なの?どうしてご飯を食べていない時も口をモグモグしているの?

日付: 12月4日(日)
時間: 13:30 ~ 14:00
※受付開始は 13:20 からです
場所: 動物科学館 1階
レクチャールーム
定員: 130人
※大人の方も参加いただけます

参加費は、子ども動物園アカデミアの「動物スクール」をプレゼント!
※新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクを着用の上でご参加ください

⑤ 11月26日(土) 実験室の小動物たち

講演者: こども動物園 飼育職員

内容: テンジクネズミ・ハツカネズミ・アカハライモリにチューもく!ヒトの安心・安全な生活を支えてくれている、小さな動物の大きな力。知ってほしい、動物福祉のこと。

子ども動物園のお話 (全5回) 第5回 「実験室の小動物たち」

テンジクネズミ・アカハライモリなど、ヒトの生活を支えてくれる動物たち。知ってほしい、動物福祉。

日付: 12月10日(土)
時間: 13:30 ~ 14:30
※受付開始は 13:20 からです
場所: 動物科学館 1階
レクチャールーム
定員: 130人
※大人の方も参加いただけます

参加費は、子ども動物園アカデミアの「動物スクール」をプレゼント!
※新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクを着用の上でご参加ください

ちばZOOフェスタ・2022 アカデミア・アニマリウム

*「内容」はHPに記載されていたものを転記しています。

11月5日(土)

- ① 「アカデミア・アニマリウム」イントロダクションー動物園の歴史的経緯とその役割についてー
発表者:千葉市動物公園長 鍋木 一誠
内容:アカデミア・アニマリウムの開催にあたり、イントロダクションとして、動物園の歴史的経緯と課題、そして社会的役割についてご紹介させていただきます。
- ② メスのアジアゾウの夜間放飼によるQOLの向上
発表者:千葉市動物公園職員 水上 恭男
内容:当園のアジアゾウの雌は夏場になると収容が遅くなることが通年ありました。これらの元となる要因を推測し、飼育形態を屋内から屋外に変更することでどのような改善点がみられたのかを発表します。
- ③ テンジクネズミの尿石症を予防するための餌の見直し
発表者:千葉市動物公園職員 林 七海
内容:テンジクネズミの尿石症は、テンジクネズミの泌尿器疾患で多く、以前、尿石症が原因で死亡した個体もいました。療法食で治療できず、また体が小さいことや、動物の体に負担がかかるため、手術で治療することも難しいです。ですが、テンジクネズミの尿石症は予防することが出来る病気なので、餌に含まれるカルシウム、水分、ビタミンCの量に着目し、餌を見直すことで発症を予防しました。
- ④ カリフォルニアアシカのトレーニング方法の再考
発表者:千葉市動物公園職員 鈴木 克典
内容:当園ではカリフォルニアアシカの個体ごとにあった給餌管理のため、トレーニングを通じて餌を与えていました。しかし2019年の担当変更以降、担当者に対するオスの圧が強く危険を伴ったためトレーニングを中止しました。これによりアシカの給餌管理が出来ず肥満化や、個体を誘導できなくなる問題が発生してしまいました。そこで、トレーニング方法の再考し、オスとメスの立ち位置やトレーニング時間の見直しによりトレーニングの再開を目指しました。
- ⑤ アミメキリンの健康管理に向けたトレーニング
発表者:千葉市動物公園職員 足立 仁之
内容:キリンは草食動物の中でも大型で、今まで採血や削蹄を行うことが難しい動物といわれていました。当園でも他園で行われているトレーニングを用いて、オスのキリンの採血を行うことができるようになりました。採血ができるまでのトレーニングの方法と、現在始めている削蹄や頭のレントゲン撮影を行うためのトレーニングの方法を説明します。
- ⑥ レッサーパンダの幼獣の雌雄判別
発表者:千葉市動物公園職員 濱田 昌平
内容:当園のレッサーパンダのこども13頭の性別判定を行ってきました。生殖器が発達する前の幼獣の性別判定がなぜできるか?どのようにして性別判定したか?などの疑問に答えていきたいと思えます。

11月6日(日)

- ① 社会問題とアニマルウェルフェアをつなげる～屠体給餌を例に～
発表者:豊橋総合動植物公園 伴 和幸様
内容:野生下の採食に近づけるために、大型動物の死骸を毛皮や骨がついたまま与える「屠体給餌」が注目されています。国内では、鳥獣被害対策として駆除され、多くが廃棄されているイノシシやシカを活用した屠体給餌が普及し始めています、このような屠体給餌は、動物福祉の向上だけでなく資源を無駄にしない倫理的取り組みであり、動物園を通して獣害問題を知り、身近な野生動物との関わり方を学ぶ環境教育としての機能を併せ持っています。

ちばZOOフェスタ2022

【11月6日(日) 続き】

*「内容」はHPIに記載されていたものを転記しています。

② 屠体給餌プロジェクトのいま

発表者: 千葉市動物公園職員 中山 侑

内容: 千葉市動物公園では皆様にご協力いただいた「屠体給餌クラウドファンディング」の支援金により、屠体給餌の科学的検証を進めています。具体的には、屠体給餌の栄養面での有用性や適切な栄養管理を行うための方法、また長期間に渡った屠体給餌によるライオンやハイエナの行動の変化を調べています。今回は現在の状況についてご報告させていただきます。

③ 屠体給餌によるハイエナの行動変化

発表者: 東邦大学 行動生態学研究室学生

内容: 千葉市動物公園では、ライオンやハイエナに皮や骨がついたままの肉を与える屠体給餌が行われています。屋内及び屋外で撮影された動画を用いて、給餌前後の動物たちの行動の変化について調査を進めております。今回の発表では、寝室におけるハイエナの行動の変化に焦点を当てて発表します。普段の展示場では見られない行動をお見せいたします。

④ フタユビナマケモノの空間利用と活動について

発表者: 茨城大学 動物福祉管理学研究室学生

内容: 千葉市動物公園では、フタユビナマケモノは熱帯雨林を再現した屋内展示施設「バードホール」で飼育されています。昼間はほとんど動かないナマケモノですが、日が暮れて夜を迎えると大きなバードホール内のあちこちを移動したり、餌を食べたりと実はせっせと活動しているんです! (動きはのんびりですが...) そんなナマケモノの1日の滞在場所や行動が季節と共にどのように変化するのかを明らかにする調査についてご紹介致します。

⑤ 飼育下チーターの放飼順に伴う発情行動と個体関係の変化

発表者: 東京農業大学 野生動物学研究室学生

内容: チーターは絶滅の危機に瀕しており、動物園での積極的な繁殖が求められています。しかしながら、雌の発情には雌同士の優劣関係や雄との間接的な接触が影響することから、繁殖には各個体の放飼順や個体関係を考える必要があります。そこで本研究では、放飼順の違いが雌雄他個体の発情行動と個体関係をどのように変化させているかを明らかにすることで、動物園のチーターの繁殖に適切な飼育管理を行うことに貢献します。

⑥ 千葉市動物公園のハシビロコウにおける繁殖成功にむけた調査—個体間関係と営巣行動—

発表者: 北里大学 動物行動学研究室学生

内容: 飼育下におけるハシビロコウの繁殖は難しいとされており、動物園での繁殖成功は現在まで2例しか報告されていない。日本においてはハシビロコウを飼育している8施設のうち、無精卵ではあるが千葉市動物公園の個体でのみ産卵が確認されている。本研究では、繁殖阻害要因として個体間闘争と営巣行動に着目した観察をおこなうことで、季節変化により各行動回数がどのように変化していくか比較・検討をおこなった。

⑦ 千葉市動物公園のチーターの父子鑑定

発表者: 東邦大学 行動生態学研究室学生

内容: チーターは、メスが一度に複数のオスと交尾をするという乱婚的な配偶システムをもちます。そのため、野生下ではきょうだいで異なる父親をもつことがあります。千葉市動物公園で6頭の子どもが産まれましたが、3頭のオスがメスと交尾をしていたので、父親が誰なのかわかりませんでした。そこで6頭の子どもの父親をそれぞれDNA解析により判定しました。本発表では、DNA鑑定の方法の詳細などについて発表します。

東邦大学オープンセミナー「生き物の暮らしや形の不思議」(全5回)

*「内容」はHPに記載されていたものを転記しています。

① 8月28日(日) 動物はどのような社会で暮らしているのか?

講演者: 東邦大学 理学部生物学科 准教授 井上英治 先生

内容: 動物には、群れをつくる種や単独で暮らす種がいます。本講演では、動物が群れをつくる理由や、哺乳類の群れのメンバー構成などについて紹介します。

② 10月9日(日) トカゲの尻尾はなぜ青いのか

講演者: 東邦大学 理学部生物学科 教授 長谷川雅美 先生

内容: 生物学の”なぜ”には、1)しっぽが青く見えるしくみを知りたいという疑問と、2)青い尾を持つことがトカゲにとってどんな利点があるのか、という2通りの疑問がありそうです。まずは、1つめのなぜについてわかってきたことを紹介し、2つめの疑問に答えるには、どうすればよいのか、いっしょに考えてみたいと思います。

③ 11月12日(土) イモリの求愛行動～フェロモンによるコミュニケーション～

講演者: 東邦大学 理学部 准教授 蓮沼 至 先生

内容: アカハライモリは繁殖の成立に雌雄間でのフェロモンによるコミュニケーションが大切な役割を果たしています。イモリの求愛行動を例に、フェロモンについて理解を深めつつ、その繁殖へのかかわりを考えます。

④ 12月3日(土) 動物のものまね?!昆虫擬態の不思議

講演者: 東邦大学理学部 准教授 小沼 順二 先生

内容: 動物の色や形が他のものに似ることを「擬態」といいます。本講演では、昆虫の擬態を中心に鮮やかな昆虫たちを紹介します。

⑤ 1月18日(日) 多様な花の形はなんのため

講演者: 東邦大学理学部 准教授 下野綾子 先生

内容: 私たちの目を楽しませてくれる野外の花々の形は、花にやってきて花粉を運んでくれる動物(ポリネーター)と密接に関係しています。植物とポリネーターの関係について紹介します。

千葉大学オープンセミナー (全3回)

*「内容」はHPに記載されていたものを転記しています。

① 9月10日(土)

縄文からはじまった環境問題—SDGsを考える—

講演者：埋蔵文化財調査センター 所長 西野 雅人 先生

内容：環境問題は5千年の歴史がある。縄文人は千年も持続した社会をどう実現したのか資源利用の実態を貝塚の発掘成果から探ります。

動物をめぐる「ことば」と「絵」—延慶本『平家物語』の〈獺〉から—

講演者：千葉大学大学院 人文科学研究院 准教授 久保 勇 先生

内容：実際に見た人はなく、動物の「名」と「絵」のみが伝わっていた時代があります。動物は人々の想像力によって語られ、描かれることで後代に伝えられてきました。今回は『平家物語』の一異本である〈延慶本〉の「ワザワヒ説話」を取り上げます。当話では最後に「ワザワヒ」の正体を「獺(バク)」と語り明かします。前近代の日本人が、未見の動物をどのように伝えてきたのか、皆さんと一緒にたどっていきたくて考えています。

千葉大学 オープンセミナー (全3回)
第1回
● 縄文からはじまった環境問題—SDGsを考える—
● 動物をめぐる「ことば」と「絵」—延慶本『平家物語』の〈獺〉から—
講師 埋蔵文化財調査センター 所長 西野 雅人 先生
千葉大学大学院 人文科学研究院 准教授 久保 勇 先生
日付：9月10日(土)
時間：13:30~14:30
会場：動物科学館1階
レクチャールーム
定員：130人
参加者には千葉市動物公園オリジナル記念カードをプレゼント!
お願い：新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクを着用のうえご参加ください

② 10月16日(日)

文人と動物のかかわり—イヌとイノシシを中心に—

講演者：埋蔵文化財調査センター 所長 西野 雅人 先生

内容： 1 考古学について
2 縄文人とイノシシ
(幼イノシシの埋葬・イノシシ信仰・素材としての利用—歯牙と腓骨—)
3 縄文人とイヌ
(縄文犬の・縄文狩猟の主役・イヌの食事・イヌはどのような存在か?)

動物を飼うってどういうこと? ニューギニアの人びと、イヌ(?)とブタ(?)のかかわり

講演者：千葉大学文学部 行動科学コース 教授 小谷真吾 先生

内容：イヌかもしれないニューギニアシンギングドッグ、ブタであるはずなのに狩猟対象であるニューギニアのイノシシ(?)と人間のかかわりを通じて、家畜とは何か、在来種とは何かを考えてみます。その事例を通じて、日本の動物園にいる動物は飼われているのかいないのかも考えてみるつもりです。

千葉大学 オープンセミナー (全3回)
第2回
● 縄文人と動物のかかわり—イヌとイノシシを中心に—
● 動物を飼うってどういうこと?
ニューギニアの人びと、イヌ(?)とブタ(?)のかかわりについて
講師 埋蔵文化財調査センター 所長 西野 雅人 先生
千葉大学文学部 行動科学コース 教授 小谷真吾 先生
日付：10月16日(日)
時間：13:30~15:00
会場：動物科学館1階
レクチャールーム
定員：130人
参加者には千葉市動物公園オリジナル記念カードをプレゼント!
お願い：新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクを着用のうえご参加ください

③ 11月20日(日) 動物心理学入門

講演者：千葉大学 文学部 准教授 牛谷 智一 先生

内容：動物の行動を見ていると、どんなことを考えているのかな?と想像してしまいますね。動物が何を考えているか知ることは、まるでおとぎ話の話で、科学的ではないと思われるでしょう。しかし、動物の心理学は、実はちゃんとした科学で、100年以上の歴史があります。動物心理学でどんなことが明らかになり、どんなことがまだわかっていないか、その一部を紹介します。

千葉大学 オープンセミナー (全3回)
第3回
● 動物心理学入門
講師 千葉大学文学部 行動科学コース 准教授 牛谷智一 先生
日付：11月20日(日)
時間：13:30~14:30
会場：動物科学館1階
レクチャールーム
定員：130人
参加者には千葉市動物公園オリジナル記念カードをプレゼント!
お願い：新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクを着用のうえご参加ください